



思いを込める

校長 平國 弘明

マスコミに取り上げられることもあるので、ご存じの方もいらっしゃるかもしれないが、東京の大塚というところに、1日に1000個を売り上げ、ときには8時間待ちの行列ができることもあるわずか12席のお店がある。売っているのはおにぎり。屋号は「ぼんご」。昭和35年創業の老舗である。地方や海外からも平日、休日問わずお客さんが足を運ぶ。3、4時間待ちは当たり前だそう。多くの人を惹きつけてやまない「ぼんご」のおにぎり。現店主の右近由美子さんはその特徴をこう話す。「握らないおにぎり」だと。「おにぎりはにぎるからおにぎりなんですよ」が、つつい力をいれすぎると、固い食感になってしまいがちです。ぼんごでは寿司職人が親指でくぼみをつくらせて空気を入れるように、真ん中に穴を空けて空気を含ませる。あ



ぼんご店主右近由美子さん(TBS情熱大陸HPより)



おにぎりづくりに励む右近さんら従業員(はたわらワイドHPより)

まはととは数回ふんわり握りこもて、口に入れた瞬間、お米がやさしく溶ける食感が実現するんです。」と。聞くだけで、「食べてみたい」という衝動を覚える。

由美子さんの半生は順風とは言えなかった。19歳で家出同然に新潟から上京。なんとか働き口を見つけるも、物価の高い東京では手頃な値段で食事ができるところが少なく、困っていたときに、紹介されたのが「ぼんご」だった。初めて食べた「ぼんご」のおにぎり。その衝撃は未だに忘れられないという。以降、毎日通い詰めるうちに、当時の店主と意気投合し結婚。ご主人とは27歳

差があった。いつしか、厨房に立つようになり、30歳を過ぎた頃、突然、おにぎりを握るようにご主人に言われる。ダメ出しばかり、常連客にもまらずいと遠慮なしに言われ、わずか一週間で胃潰瘍となる。ただ、胃痛に襲われながらも、お客さんの声に耳を傾けながら1日数百個を握り続け、およそ10年経った頃、ようやく握り加減がなんとなく分かるようになってきたと感じたそうである。2002年、ご主人が脳梗塞で倒れ、由美子さんが二代目に就任。6時に店入り、仕込み、開店、午後11時の閉店まで働きつめの毎日だった。それでも1000万円の借金を抱え、寝る間を惜しんで働くしかなかったという。帰り道、涙しながら自転車をこぎ続けたと語る。その甲斐あって借入金はずか4年で完済する。そうしてようやく経営が安定し始めた矢先、2010年ご主人が他界する。由美子さんはご主人や従業員を支える一心で店を切り盛りしていた。そのご主人を失ったことにより、おにぎりを握る意味を見失う。今後どうすればいいか5年間ほど悩み続けた。自問自答の末、頭に浮かんだのが、おにぎりを頬張り、喜ぶお客さんの顔を見ることこそが内容の幸せ、私にはこの道しかないとの確信に至り、迷いが吹っ切れた。

「おにぎりって、信頼関係がないと口にできない食べ物だと思うんです。日本人がおにぎりを好むのも、幼い頃にお母さんに握ってもらった思い出がある。ですから、母の愛情にも勝るとも劣らない思いを両手に込めることで、僅かでも喜びを感じてもらえたら、私にとってはこの上ない喜びです。」と由美子さんは、今日もお店に立つ。

やはり心を込めたものは、まわりの心を動かし、感動をも呼ぶ。目の前のこと一つ一つに心を込めていきたい。皆も、夏休みも宿題や家事、部活動等の一つ一つ、心を込めて取り組んでいこう。

○先輩からのメッセージ

7月13日(土)、中学校では各高校の先輩方から直接お話をうかがい、自らの進路について考えるきっかけにするために、先輩講話が体育館で実施されました。南大隅高校から馬込真理那さん、鹿屋高校から小平ひかるさん、鹿屋中央高校から大山優さんが来校され、それぞれの学校や学科の特色、中学校の頃どのように進路選択をしていたかなどの経験談を語りました。生徒の皆さんは将来の自分の姿を想像しながら、メモをとる姿がありました。



1学期は錦江探訪で錦江町について、それぞれの学年で学び、先輩講話で進路について学ぶ時間がありました。二学期以降もキャリア教育のさらなる充実を図っていきます。

○Mastery for Service

7月7日(日)、PTA事業部が中心となってリサイクル活動がありました。地域の皆様のご協力もあり、かなりの数の焼酎瓶やビール瓶が集まりました。ご協力、誠に有り難うございました。

事業部の次の活動は、奉仕作業があります。8月18日に当初予定していましたが、諸都合により9月1日(日)に変更しています。体育大会に向けての校内の環境美化にご協力ください。



8月の行事

日	曜	行事等
1	木	出校日 下校バス11:00 16:30
2	金	平日のバス 学校到着 8:00
~		下校出発 12:15
12	月	土日・祝日のバス 運休
13	火	
~		学校閉庁のため バス運休
16	金	
17	土	平日のバス 学校到着 8:00
~		下校出発 12:15
20	火	土日・祝日のバス 運休
21	水	出校日 下校バス11:00 16:30
22	木	平日のバス 学校到着 8:00
~		下校出発 12:15
31	土	土日・祝日のバス 運休

命を守る方法

これから始まる夏休み、悩みや相談について、どうしても周囲に打ち明けられない場合は、中学校や下に記載している電話相談窓口も活用してください。「命こそ宝」を忘れないで。それぞれの「一番の夏」にしてください。

主な電話相談窓口

24時間子供SOSダイヤル
(0120)078310
(24時間)

チャイルドライン
(0120)997777
(午後4時~9時)

子どもの人権110番
(0120)007110
(平日午前8時30分~午後5時15分)

